

ギプスを巻かれた方へ

1、ギプスをぬらさない

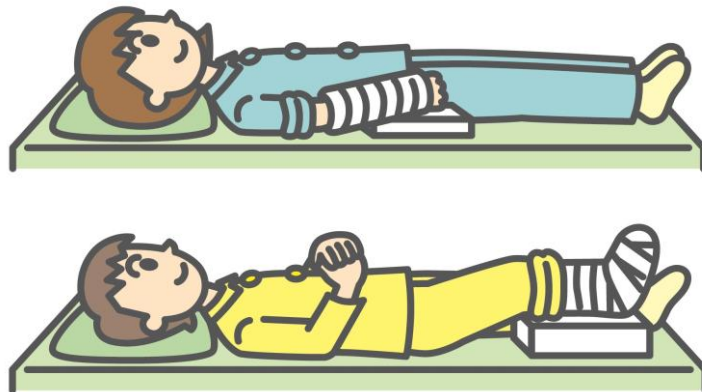
ギプスが変形すると、しびれや、手先または足先の色が悪くなるなどの原因になり、固定の効果も失われてしまいます。

2、患部は心臓より高くする

腫れが早く引くようにするためです。

★起きているとき

★寝ているとき



3、スキンケア

ギプス固定中は、ギプスの中の皮膚がかゆくなることがありますが、とがったもので搔くなど皮膚を傷つけるおそれのある行為は避けましょう。



ギプスの縁で皮膚がこすれ赤くなって痛む、中でギプスがあたるなどの場合は、医師や看護師に相談してください。低刺激のローションやクリームで改善することもあります。

表に出ている部分は、できるだけ清潔を保つことが大切です。

お湯で絞ったタオル(ホットタオル)で拭いたり、

ローションなどを塗りながらマッサージしたりすると血行もよくなります。

4、こんなときは病院に連絡を

次のような場合は心臓より30分程高くし様子を見て軽減しなければ病院に連絡しましょう

- ①痛みがだんだん強くなる
- ②腫れなどのためにギプスがきつい、あたる場所がありづらい(縁、内部)
- ③ギプスが壊れた
- ④手足の場合、末梢が冷たくなったり、紫色になったり、感覚が鈍くなったりしたとき
- ⑤指など、動かしていたところが動かせない

ギプス固定中はギプスの中を直接見ることはできないので、痛みなどの感覚、ギプス周辺や末梢の皮膚の様子を観察して、ギプス内でトラブルが起こっていないかどうかチェックします。

場合によっては、ギプスを一度はずして中の状態を確認し、新たに固定し直す必要があります。

ギプスがあたっている皮膚に傷ができたり、神経が圧迫されていたりすることもあるので

上記のような症状があるときは遠慮なく病院に相談しましょう。

連絡先

横浜市鶴見区鶴見中央1丁目6番3号

ドメスティックプラザⅡ 2F

嶺 整形外科クリニック

TEL 045-508-7710

FAX 045-508-7712